

# SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

『中小企業と銀行取引 60』

## 貸出金利の現実 (「しわ寄せ」を跳ね返す)

- 12月11日、米FRB、今年11回目の短期金利引下げ - そんな報道に接すると、米国の連邦準備理事会(FRB)の決断は迅速果敢であると思ふ。ネットバブルが崩壊し景気後退が鮮明になった時から、FRBの金利引下げへの動きには凄まじいものがある。

参考までに今年1年の引下げを表にまとめてみた。その回数(11回)、その引下げ幅(4.75%)は過去に例のないものとなっている。

引下日	引下幅	引下後	引下日	引下幅	引下後
1/3	0.5%	6.00%	1/31	0.5%	5.50%
3/20	0.5%	5.00%	4/18	0.5%	4.50%
5/15	0.5%	4.00%	6/27	0.25%	3.75%
8/21	0.25%	3.50%	9/17	0.5%	3.00%
10/2	0.5%	2.50%	11/6	0.5%	2.00%
12/11	0.25%	1.75%			

この動きを見ると、FRBが今回の景気後退を容易ならぬものと捉えていることが判るが、上げる時も下げる時も政治やマスコミに揉みくちにされ、結果として「戦力の逐次投入」が常となっている我が国の金融政策と比較するのも馬鹿らしい機動性を感じる。

ところで、貴方は自社が取引している銀行の短期プライムレート(短期最優遇金利)が何%であるかを知っているだろうか。それと比較して自社の借入金利がどのレベルにあるかを承知しているだろうか。

今年上半期の、都銀・地銀・第2地銀の平均貸出金利(加重平均)を日銀が公表しているが、それによると9月は下表のようにになっている(詳しくは別紙をご覧ください)。

	平均貸出金利	8月比
都銀	1.414%	0.053%
地銀	1.814%	0.044%
第 地銀	2.239%	0.041%

(平均貸出金利は短期長期合算)

この表から読み取れるのは、平均金利は依然として下がっている、平均金利は短期プライムに近い数字となっている、ということである。

私の知見の範囲では、短期プライムレートは、

都銀1.375%、地銀1.75%、第2地銀2.00%程度(個別には若干違う)である。上の表と重ねて見ると、平均金利の方がやや高いが概ね短プラに近い水準となっている。これはどういうことだろうか。

「5年固定、金利1.0%、それでいかがでしょう」。9月末から6ヶ月、金利0.5%で借りて貰えませんか。昨今、全国のおちこちでこのような光景が繰り広げられている。銀行員が頭を下げて優良企業への金利ダンピングを行っているのである。

何故こんな条件が出せるかと云うと、銀行は、「スワップ市場で、5年固定金利を0.5%未満で調達できる」、「6ヶ月TIBORが0.1%で調達できる」などと説明する。貸出リスクをゼロと判断すれば、銀行は労せず0.5%程度の鞘が抜けるから優良企業向けに「破格の条件」を提示できるのだと云う。しかし、この説明には嘘がある。銀行の資金調達の大部分は預金である。その預金金利は同期間のスワップ金利やTIBORよりも低いのだ。

今、銀行はかつてない低コストで貸出原資(預金)を集めているという事実が、平均貸出金利を短プラに近付けている要因だと思う。貴社の借入金利が、その銀行の短プラを大きく上回っているとしたら、それは「交渉余地がある」ことを示しているか、あるいは「見下されている」ことを示している。

先月の中間決算発表時、三井住友銀行頭取の発言が取引先企業にショックを与えた。金融界で最も力を持つというその頭取は、「国内融資の大リストラ」をやると公言し、メインバンク・システムやリレーションシップに基づく融資はこれ以上やらないと言い放った。そして、邦銀が目の敵として非難してきた新生銀行のやり方を「方向としては正しい」と評価したのだ。

新生銀行(旧長銀)は平均貸出金利目標を5~6%に置いているという。それを大手銀行が羨ましく思うのは自由だが、経営者は金利引上げ攻勢から自社を守らなければならない。その意味で、銀行の貸出残高維持競争が激化している今が最後のチャンスである。貸出先を個別に見た場合、銀行には「もっと下げる余地がある」のだ。データが示しているように、銀行の総体の貸出金利は依然として下がっているのである。

Weekly Fax Report

《転載・複製等のご連絡下さい》

URL: [http://www.hi-ho.ne.jp/smc\\_toyo/](http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/)

2001.12.15(第288号)

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

Email: [smc\\_toyo@hi-ho.ne.jp](mailto:smc_toyo@hi-ho.ne.jp)